

論文指導経過			
元院生のメール	返答までの日数 (元院生)	高野のメール	返答までの日数 (高野)
2006/5/1			
2006/5/24	22	2006/5/2	1
2006/11/27	178	2006/6/2	9
2006/12/7	1	2006/12/6	9
2006/12/14	8	2006/12/7	0
2007/9/5	263	2006/12/16	2
平均	94.4	平均	4.2

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2006年5月1日月曜日 16:32  
宛先: TAKANO, Yohtaro  
件名: 論文の構成と内容  
添付ファイル: 論文構成 [REDACTED] 第一稿06\_05\_01.RTF

高野先生

ずいぶん遅くなってしまいましたが、修士論文を元にした論文の構成と内容をお送りします。  
特性推論の修正モデルと統合モデルの検討を行っております。  
お忙しいと思いますがご指導をお願い致します。

[REDACTED]



ずいぶん遅くなってしまいましたが、修士論文を元にした論文の構成と内容をお送りします。  
特性推論の修正モデルと統合モデルの検討を行っております。  
お忙しいと思いますがご指導をお願い致します。

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2006年5月24日水曜日 16:31  
宛先: TAKANO, Yohtaro  
件名: Re: 論文の構成と内容  
添付ファイル: 論文内容 [REDACTED] 第二稿06\_05\_24.RTF; 論文構成 [REDACTED] 第二稿06\_05\_24.RTF

高野先生

論文の構成と内容を再度お送りします。

昨年の段階では検出力が高くはなく、理論的な意義が大きいだけに、ネガティブな結果に基づいて議論し投稿するのには慎重にならざるを得ませんでした。しかし昨年度データを取り増した上でも、やはり裏の動機-高負荷条件では対応バイアスが生じず、もとの予測を確信する結果となりました。

全体としては、十分に確立されたパラダイムを用いた上で、これまでの研究とは逆の結果を予測し実証した実験であり、それなりによい研究なのではないかと思えます。

---

差出人: TAKANO, Yohtaro <takano@L.u-tokyo.ac.jp>  
送信日時: 2006年6月2日金曜日 11:55  
宛先:   
件名: 内容・構成

今週は忙しくて、なかなか時間がとれなかったのですが、ようやく「構成」と「内容」の検討が済みました。今日は6時頃まで研究室にいますから、いつでも来てください(メールか電話で在室を確認してからの方がいいでしょう)。明日以降の場合は、アポをとってください。

来るときには、質問紙の郵送料の領収書を持ってきてください。立て替えてくれていたお金を支払いたいと思います。領収書の宛名は私の名前になっていますか？ 私の名前でないと、事務が研究費からの支出を認めてくれないので、もし私の名前以外の宛名になっている場合は、郵便局で私宛の領収書に書き換えてもらってきてください。

\*\*\*\*\*  
高野 陽太郎  
東京大学文学部心理学研究室  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
Phone & Fax: 03-5841-3860 (直通)  
E-mail: [takano@L.u-tokyo.ac.jp](mailto:takano@L.u-tokyo.ac.jp)  
<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~takano/j/>  
\*\*\*\*\*

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2006年11月27日月曜日 18:36  
宛先: TAKANO, Yohtaro  
件名: 論文について  
添付ファイル: 論文内容 [REDACTED] 第三稿06\_11\_27.RTF; 論文構成 [REDACTED] 第三稿06\_11\_27.RTF

高野先生

対応バイアスと特性推論についての論文のデータを集め終わりました。結論からいうと、データは当初の仮説を支持するものでした。完璧とは言えませんが（有意差が検出されると好ましい比較の全てで有意差が見られたわけではない、という意味で）、仮説と矛盾するような箇所はなく、実験結果全体を整合的に説明できるものでした。

実験演習でのデータは結局、分散が大きいため昨年度までの分も含めて除外して分析を行いました（全体的な傾向は私が行ったものと同じでしたが）。

ファイルをお送りしますのでご指導をお願いします。構成については変化はありません。内容は、前回のご指摘と最終的な実験結果に基づいて大幅に修正しております。修正した箇所は紫の字にしております。よろしくお願ひします。

MIME-Version: 1.0

Date: Wed, 06 Dec 2006 17:43:14 +0900

Subject: Re: 論文について

From: TAKANO, Yohtaro <takano@L.u-tokyo.ac.jp>

To: [REDACTED]

Message-ID: <JA200612061743146.23468531@L.u-tokyo.ac.jp>

Content-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

Content-Transfer-Encoding: 7bit

[REDACTED]

X-Mailer: JsvMail 6.5 (Shuriken Pro4 /R.2)

X-Priority: 3

X-JsvMail-CryptType: None

X-JsvMail-OrgCryptType: None

添付ファイル数: 0

[REDACTED]

論文構成・内容、読みました。良い研究になりましたね。研究目的もロジックも結果も非常に明快です。実験演習のデータを全部除外したのは、私としては大歓迎です。

良い論文にもなりそうですが、もう少し手直しが必要ですね。

早速、相談をしたいと思いますが、私の方は、明日（木）の午後でも、明後日（金）の午後でも結構です。都合を知らせてください。



\*\*\*\*\*  
高野 陽太郎

東京大学文学部心理学研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Phone & Fax: 03-5841-3860 (直通)

E-mail: takano@l.u-tokyo.ac.jp

http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~takano/j/  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
[redacted] さん:

> 高野先生

>

>

> 対応バイアスと特性推論についての論文のデータを集め終わりました。結論からいうと、データは当初の仮説を支持するものでした。完璧とは言えませんが（有意差が検出されると好ましい比較の全てで有意差が見られたわけではない、という意味で）、仮説と矛盾するような箇所はなく、実験結果全体を整合的に説明できるものでした。

> 実験演習でのデータは結局、分散が大きいため昨年度までの分も含めて除外して分析を行いました（全体的な傾向は私が行ったものと同じでしたが）。

> ファイルをお送りしますのでご指導をお願いします。構成については変化はありません。内容は、前回のご指摘と最終的な実験結果に基づいて大幅に修正しております。修正した箇所は紫の字にしております。よろしくをお願いします。

>

>

> [redacted]

>

MIME-Version: 1.0

Date: Thu, 07 Dec 2006 12:39:37 +0900

Subject: Re: 論文について

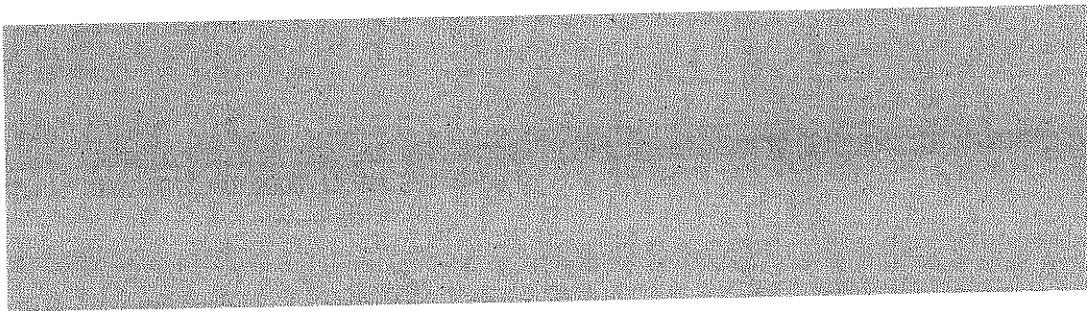
From: TAKANO, Yohtaro <takano@L.u-tokyo.ac.jp>

To: 

Message-ID: <JU200612071239372.280375@L.u-tokyo.ac.jp>

Content-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

Content-Transfer-Encoding: 7bit



X-Mailer: JsvMail 6.5 (Shuriken Pro4 /R.2)


X-Priority: 3

X-JsvMail-CryptType: None

X-JsvMail-OrgCryptType: None

添付ファイル数: 0

---

では、明日の3時ではどうでしょう？

\*\*\*\*\*

高野 陽太郎

東京大学文学部心理学研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Phone & Fax: 03-5841-3860 (直通)

E-mail: takano@l.u-tokyo.ac.jp

http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~takano/j/

\*\*\*\*\*

[redacted] さん:

> 高野先生

>

> 今日は実験演習部があるので、明日の午後でよろしいでしょうか？時間は何時がよいでしょうか？

>

> [redacted]

>

>

---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2006年12月14日木曜日 18:42  
宛先: TAKANO, Yohtaro  
件名: 論文構成と内容 4 稿  
添付ファイル: 論文内容 [REDACTED] 第四稿06\_11\_27.RTF; 論文構成 [REDACTED] 第四稿06\_11\_27.RTF

高野先生

論文の構成と内容の第4稿をお送りします。修正箇所は緑色にしてあります。  
前回分析するときに、昨年度の実験演習で行った分（一人の実験者による5名の被験者）を除外し忘れていたことに気づいたので、修正しました。被験者数は92名となりましたが、結果に大きな変化はありません。

[REDACTED]

MIME-Version: 1.0

Date: Sat, 16 Dec 2006 17:19:01 +0900

Subject: Re: 論文構成と内容 4 稿

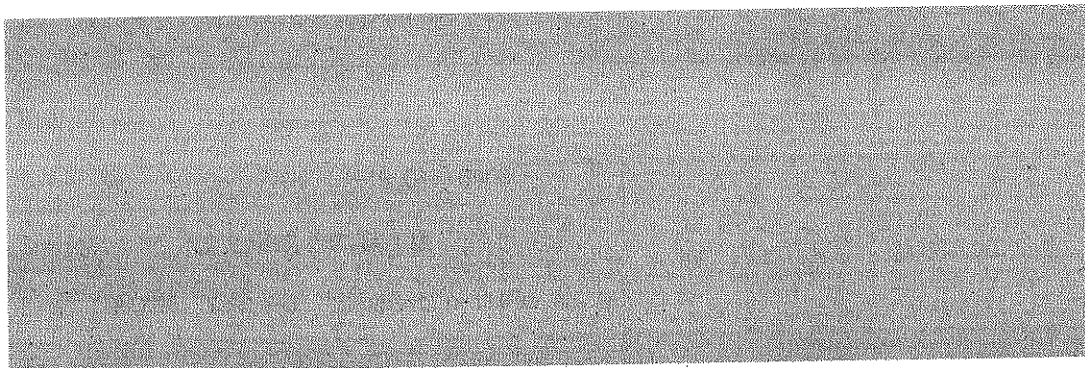
From: TAKANO, Yohtaro <takano@L.u-tokyo.ac.jp>

To: [REDACTED]

Message-ID: <J0200612161719016.15707046@L.u-tokyo.ac.jp>

Content-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

Content-Transfer-Encoding: 7bit



X-Mailer: JsvMail 6.5 (Shuriken Pro4 /R.2)

X-Priority: 3

X-JsvMail-CryptType: None

X-JsvMail-OrigCryptType: None

添付ファイル数: 0



構成・内容Ver.4、無事に届きました。

追加した部分を検討しました。以下の点を修正してください。

1. 「序論」の「本研究の目的」

少し一般的すぎるので、「2つのモデルの妥当性を比較する」という趣旨の記述を加

えることにしましょう。

## 2. 「序論」の末尾 実験のロジック

不十分です。特に、「隠れた動機条件」を設定することで何が新たに分かると期待されるのかを丁寧に記す必要があります。実験の基本的ロジックの説明は非常に重要な部分ですから、読者の立場に立って、どういう風を書いてあれば実験方法の意味や結果の意味を理解しやすくなるか、よくよく考えて記述を練り直してください。

## 3. 被験者の配分

「被験者は計8通りの実験条件(2×2×2)に無作為に割り当てられた。」という記述は、「動機及び立場の要因の操作」のところではなく、「要因は、動機(2:強制/隠れた動機条件)×エッセイの立場(2:賛成/反対)×認知的負荷(2:高負荷/低負荷)で全て被験者間であった。」の後に入れた方がいいでしょう。

## 4. 結果(態度の認知)の記述

先日、「主要な知見を先に書く」と言いましたが、

Gilbertらの先行研究から、強制条件では、高負荷条件においては低負荷条件よりも極端な態度が推測されると予測された。本実験では賛成条件では、高負荷条件は低負荷条件に比べより賛成の態度が( $M_s = 6.85$  v. s.  $5.55$ ,  $p < .05$ )推測されていた。反対条件では、こうした差は見られなかった( $M_s = 3.80$  v. s.  $4.00$ )。

というのが最も主要な発見事実なのでしょうか？

また、次の段落

隠れた動機条件での負荷の影響は、修正モデルと統合モデルでは異なっていた。本実験では、隠れた動機-反対条件では、高負荷条件は低負荷条件よりも賛成の態度が( $M_s = 5.00$  v. s.  $3.09$ ,  $p < .005$ )推測されていた。隠れた動機-賛成条件では、こうした差は見られなかった( $M_s = 4.87$  v. s.  $5.54$ )。

では、では、予測について述べているのか、データについて述べているのかすら明確では

ありません。

まず、2つのモデルが異なる予測をするところに注目し、修正モデルはどのような予測をするのか、統合モデルはどのような予測をするのかをはっきりと記してください。それと対応する形で結果を述べ、どちらの予測がデータと合っているのかを明記してください（卒論執筆の手引きに記した書き方です）。現在の記述では、統計分析のどの結果がモデルの妥当性を比較するために重要なのが分かりません。

また、統計分析は、ルーティーンの手続きに従って分析を進めているだけのような印象を与える記述になっています。それぞれの分析の目的と分析結果の意味がもっとはっきり分かるような記述を工夫してみてください。

## 5. 考察

最初の段落は最も重要なことを述べているわけですが、非常に分かりにくい記述になっています。焦点がぼけている感じです。

全体として、修正・変更した部分は、期待に添うものではありませんでした。もっともっと頭を絞って、焦点のはっきりした、分かりやすい記述を目指してください。

\*\*\*\*\*

高野 陽太郎

東京大学文学部心理学研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Phone & Fax: 03-5841-3860 (直通)

E-mail: takano@l.u-tokyo.ac.jp

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~takano/j/>

\*\*\*\*\*

[REDACTED]:  
> 高野先生

>

> 論文の構成と内容の第4稿をお送りします。修正箇所は緑色にしております。

> 前回分析するときに、昨年度の実験演習で行った分（一人の実験者による5名の被験者）を除外し忘れていたことに気づいたので、修正しました。被験者数は92名となりましたが、結果に大きな変化はありません。

>

> [REDACTED]

>



---

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2007年9月5日水曜日 14:07  
宛先: TAKANO, Yohtaro  
件名: 論文内容 (5稿)  
添付ファイル: 論文構成 [REDACTED] 第五稿.rtf

高野先生

論文の内容 (第5稿) をお送りします。よろしくお願ひします。

[REDACTED]